

令和5年度鳥取大学修学支援事業基金 学生の感謝のことば

本年度の事業により支援を受けた学生から、ご寄付を頂いた方々に対する感謝のことばが届いています。

その一部をご紹介します。

(注) 学生の学年は奨学金給付時(令和5年9月)のもの

地域学部1年 Aさん

この度は、修学支援事業基金からの奨学金を給付してくださり、ありがとうございます。私は地域学部にて在籍しており、まだ大学生活に不慣れなところはございますが、自分なりに「地域」と向き合い勉学に励んでいます。この大学生活4年間で、将来「地域」を盛り上げることの出来る人材になるべく、専門的な知識や技術を身につけていきたいと考えております。その学びを深めていく上で、この給付奨学金の機会をいただけたことをとても感謝しています。大学で培った学びを生かし将来この恩を返していけるよう努力いたします。この度は本当にありがとうございました。

医学部3年 Bさん

この度は、修学支援事業基金からの奨学金を給付していただき、ありがとうございます。

私は保健学科で看護学を専攻しており、この9月から実習が始まりました。実習に専念するためにも期間中はアルバイトをやめているため、経済的にも余裕がない状況の中、このような機会をいただき本当に感謝しています。いただいた奨学金は、学費に充てさせていただきます。

修学支援事業基金に寄附して下さった学内外のみなさんに感謝するとともに、今後の学生生活をより有意義なものとしていきたいと思っております。

この度は、本当にありがとうございました。

工学部4年 Cさん

この度は、修学支援事業基金からの奨学金を給付していただき、ありがとうございます。

いただいた奨学金は、大学院の進学への学費に充てさせていただきます。

私は、工学部において、製薬について学んでおり、卒業後は製薬に関する仕事に就きたいと考えています。今日では、伝染病へのワクチンや、がんに対する効果的な医薬品が非常に求められています。そのため私は、製薬の技術の進歩に寄与する人材に成長するべく大学院に進学し、より専門的な知識を学ぶ予定です。しかし、ここ数年のコロナ渦によって両親の家計が苦しく、また私も十分にアルバイトを行えなかったため、金銭的に余裕がありませんでした。今回、修学支援事業基金に寄附して下さった学内外のみなさんに感謝するとともに、今後の学生生活をより有意義なものとしていきたいと思っております。

この度は、本当にありがとうございました。

農学部2年 Dさん

この度は、修学支援事業基金からの奨学金を給付していただき、ありがとうございます。いただいた奨学金は、教科書代などの学費に充てさせていただきます。

私は、農学部において、農業について学んでおり、卒業後は農学部で学んだ知識を元に地元である鳥取県に貢献する仕事に就きたいと考えています。

私の家庭は母子家庭であり、家計も厳しい状況であります。そのような中で奨学金を給付していただき、とてもありがたいと思っています。

この度は、本当にありがとうございました。
